

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月16日

計画の名称	大阪港における安全な交通基盤の形成と地域活性化による持続可能な港づくり（地域活性化）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	大阪市												
計画の目標	アジア諸国の経済発展と産業活動のグローバル化が進展するなか、国際海上コンテナ輸送における西日本のゲートポートとして国際競争力の強化を図るため、港湾機能を拡充する。 アジアにおいてクルーズ市場が成長するなか、観光振興を通じて地域の活性化を図るため、クルーズ客船の寄港需要に対応した港湾施設の改良を行う。 夢洲の国際物流拠点及び国際観光拠点の形成に伴い新たな人流が発生することから、海上アクセスの確保により大阪市域及び周辺地域への人流構築の更なる強化を図るため、港湾施設の整備を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,236	A	2,756	B	0	C	480	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	14.83	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	大阪港港湾計画に位置付けられた目標を達成させるため、令和6年度までに夢洲道路等の整備達成率を91%から100%に向上させる。 当計画で整備を行う夢洲道路等の整備達成率の割合を指数とする。 夢洲道路等の整備達成率の割合（対象6.0ha）	91%	91%	100%
2	22万総トン級のクルーズ客船の係留に対応する施設整備を行い、令和6年のクルーズ客船の年間寄港隻数を90隻以上となるよう進める。 天保山岸壁において、クルーズ客船の年間寄港隻数を指標とする。 天保山岸壁におけるクルーズ客船の年間寄港隻数	62隻/年	70隻/年	90隻/年
3	浮桟橋、波除堤、通路・待合所等の整備を行い、夢洲地区における海上アクセスの航路数を令和6年度末に2航路となるように進める。 夢洲地区において、海上アクセスの航路数を指標とする。 夢洲地区における海上アクセスの航路数	0航路	0航路	2航路
4	交差点改良や舗装改良を行うことにより、令和6年度までに道路改良の達成率を0%から100%に向上させる。 当計画で整備を行う道路改良の達成率の割合を指数とする。 道路改良達成率の割合（対象4,870m）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
定量的指標の現況値及び目標値：番号2の当初現況値・中間目標値・最終目標値は、R1寄港数実績・R4寄港数目標・R6寄港数目標値を表す。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	A02-001	港湾	一般	大阪市	直接	-		戦略	建設	夢洲道路整備	歩道整備等	大阪港・夢洲地区						46	-	-
		H31以前：A02-001																		
	A02-002	港湾	一般	大阪市	直接	-		戦略	改良	天保山岸壁改良	岸壁延伸改良(40m)、付属工	大阪港・港地区						498	-	-
		H31以前：A02-002																		
	A02-003	港湾	一般	大阪市	直接	-		戦略	建設	夢洲浮棧橋等整備	浮棧橋(1基)整備、波除堤(60m)整備	大阪港・夢洲地区						1,714	1.2	-
	A02-004	港湾	一般	大阪市	直接	-		戦略	改良	大阪港内道路改良	道路改良等	大阪港・南港地区						498	-	策定済
												小計						2,756		
												合計						2,756		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	C02-001	港湾	一般	大阪市	直接	-	戦略	建設	海上アクセス円滑化事業	通路・待合所等整備	大阪港・夢洲地区						480	1.2	-	
		夢洲浮棧橋等整備と一体的に実施することにより、海上アクセスのさらなる利便性向上を図る。																		
											小計						480			
											合計						480			

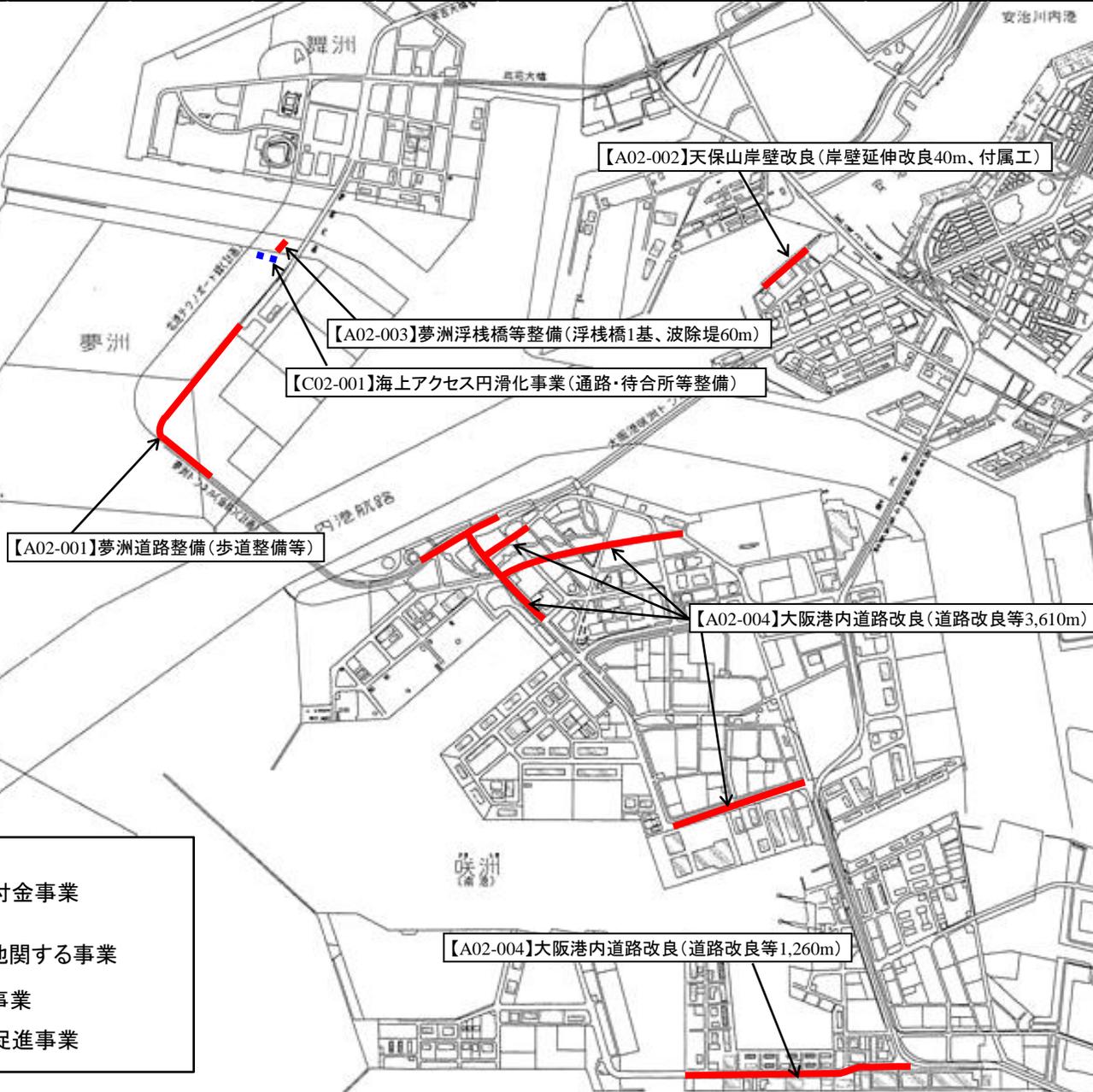
事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 大阪市において評価を実施。	事後評価の実施時期 令和8年3月
	公表の方法 市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・22万総トン級のクルーズ客船の係留に対応する施設整備を行った結果、過去最高の寄港数につながり、地域の活性化が図られた。 ・夢洲地区において、浮棧橋や待合所等の整備を行った結果、海上アクセスによる人流構築の強化が図られた。 ・大阪港内道路改良において、交差点改良や舗装改良を行った結果、物流車両の円滑な交通の確保が促進された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
残事業である夢洲道路整備、大阪港内道路改良については、周辺の開発状況等を踏まえ、次期計画期間内での整備に向けて進めていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	夢洲地区内の開発状況等の動向を踏まえた整備を行う必要があり、次期計画で行うこととしたため。
	最終実績値	91%	
2	最終目標値	90隻/年	現在は回復し、上昇傾向にあるものの、コロナ禍の影響により、一時期、寄港数が0隻に落ち込んだため。
	最終実績値	65隻/年	
3	最終目標値	2航路	令和6年度末に整備が完了し、令和7年度から使用を開始したため。なお、万博期間中(R7.4～R7.10)には、目標値を超える4航路が運航された。
	最終実績値	0航路	
4	最終目標値	100%	事業計画見直しにより、一部区間を次期計画で行うこととしたため。
	最終実績値	74%	

社会資本総合整備計画

計画の名称	大阪港における安全な交通基盤の形成と地域活性化による持続可能な港づくり(地域活性化)(重点)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度(5年間)	交付対象	大阪市



凡例

	本交付金事業
	効果促進事業
	その他に関する事業
	基幹事業